

競 技 注 意 事 項

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、補助競技場、多目的広場、雨天練習場を原則とする。補助競技場では道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習はできない。メディシングボールについては、競技場周辺で使うことができるが、安全に注意すること。砲丸投（回転投げを除く）の練習は、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う。投てき競技（砲丸投（回転投げ）・円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、競技開始前の練習に限り、多目的広場の使用を認める。練習する際には、現地の審判員の指示に従い、安全に留意して行うこと。

【練習会場】

(1) メイン競技場

- ① トラックのみ利用を認める、ただし、競技の準備を優先とする。
- ② 利用時間は、開場から競技開始30分前までとする。
- ③ 設置しているハードルを利用した練習は認めるが、ハードルの移動は認めない。
- ④ 個人の練習道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止とする。
- ⑤ レーンの使用については以下の通りである。
 - ア) 1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
 - イ) ホームストレート側3～5レーン、及びバックストレート側3～6レーンは短距離練習のみ使用可とする。
 - ウ) 100mH・110mHの練習はホームストレート側のみとし、100mHは6・7レーン、110mHは8・9レーンを利用すること。
 - エ) ブロックを利用した練習は、第1曲走路の7～9レーンとする。

(2) 補助競技場

- ① レーンの使用については以下の通りである。
 - ア) 1～2レーンは、周回練習のみ使用可とする。
 - イ) 3～4レーンは、短距離練習のみ使用可とする。
 - ウ) 第1曲走路からバックストレートにかけて、3～6レーンはブロックを使用してのスタート練習を実施してかまわない。第3曲走路で、ブロックを使用してのスタート練習は認めない。
ただし、下記の時間帯は5レーンで女子400mH・6レーンで男子400mHのハードル練習を優先とする（5台目まで）。

【10月17日(土)】 5・6レーン・・・ 7時30分～ 8時55分／11時00分～12時10分

エ) ブロックを使用してのスタート練習は、多目的広場側直走路を使用すること。使用できるレーンは以下の通りとする。なお、指定時間帯はハードル練習を優先とする。

【10月17日(土)】 5～8レーン・・・スタートダッシュ(ブロック)・スプリント練習
9～11レーン・・・ハードル練習（5台目まで、各自で設置）

【10月18日(日)】 5～11レーン・・・スタートダッシュ(ブロック)・スプリント練習
8～11レーン・・・下表の指定時間帯で、ハードル練習を優先

<12時00分～17時00分>

5	5	スタートダッシュ・スプリント練習
6	6	スタートダッシュ・スプリント練習
7	7	スタートダッシュ・スプリント練習
8	8	100mH(0.762m_8.00m)
9	9	100mH(0.838m_8.50m)
10		110mH(0.914m_9.14m)
11		110mH(1.067m_9.14m)

- ② 個人の練習道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止とする。
- ③ 投てき競技で、回転投法ではない砲丸投の練習は、トラック外側の砲丸投ピットで行うことができる。また、投てき物を持たない基本練習を行うことができる。なお、練習の際は係員の指示に従うこと。

(3) 多目的広場

- ① 使用できるエリア及び出入口は南側のみ（コーンで規制予定）。
- ② 砲丸投（回転投法のみ）・円盤投・ハンマー投・やり投の突き刺し練習ができるが、その際、該当種目の練習時間を確認の上、練習場係の指示に従い安全に留意して実施すること。
- ③ 個人の練習道具（メディシンボール、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習を決められたエリア内で実施することができる。その際、他の選手に危険を及ぼすことがないように十分配慮すること。
- ④ 当該種目の招集完了時刻以降の投てき練習はできない。

【10月17日(土)】 男女ハンマー投・・・・・・・・ 7時20分 ～ 8時50分
男子円盤投・・・・・・・・ 11時30分 ～ 13時20分

【10月18日(日)】 男子砲丸投(回転投法のみ)・・・ 7時20分 ～ 8時20分
女子砲丸投(回転投法のみ)・・・ 11時30分 ～ 13時20分
女子やり投・・・・・・・・ 9時30分 ～ 11時00分
男子やり投・・・・・・・・ 13時00分 ～ 14時50分

(4) 雨天練習場

- ① 雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ② 雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの入退場は禁止する。
- ③ シート・マット等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよいが、それ以外の練習は、他の練習会場で行うこと。
- ⑤ ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ ハードルは使用できない。
- ⑦ 個人の練習道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止とする。

2 スパイクシューズ等の制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- (2) トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの右横やや後方につけること。

4 選手招集について

- (1) 選手招集場所は、第2ゲート付近とする。
- (2) 選手招集開始時刻・完了時刻は、競技時間を確認すること。
※1：棒高跳は現地で招集を行う。また、現地で競技開始60分前より、跳躍練習ができる。
※2：参加人数の多い種目については、段階的に招集を行う。競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。
- (3) 招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- (4) 2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出ること。

5 競技について

- (1) 競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- (3) トラック競技において、同記録者が出た場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部（電気時計 1/1000）まで読み取り、着差の判定をする。
- (4) トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- (5) TR16.5（不適切行為）が認められた場合は、審判長の判断により「イエローカード」が出されることがある。同じ競技会の中で2度の規則違反があった場合は失格となる。
- (6) スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- (7) 短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (8) レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (9) 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- (10) 選手は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。サイドスタンド・バックスタンドに限り、選手に手渡しして映像を見せることができる（メインスタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止とする）。選手はスタンド付近でのみ、機器等を触ることができる。競技場フィールド内に機器等を持ち込むことはできない。なお、各スタンドでフィールド内の選手とコミュニケーションをとる場合は、競技役員・審判員の業務の邪魔にならないように留意すること。
- (11) フィールド競技における競技中の選手への水分の差し入れは、競技該当審判員を通じて選手に手渡すことができる。

6 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。
- (2) 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んで서는ならない。

7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1・2コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：棒高跳・投てき競技

第3ゲート：走高跳

第4ゲート：第3コーナー・100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳、三段跳

8 跳躍競技について

- (1) 走高跳のバーの上げ方については、下記の通りである。

		練習		
走高跳	男子	150	155～180cmまで5cm刻み	180cm以降3cm刻み
	女子	120	125～150cmまで5cm刻み	150cm以降3cm刻み
棒高跳	男子	310	321～381まで20cm刻み	381cm以降10cm刻み
	女子	210	221～281まで20cm刻み	281cm以降10cm刻み

- (2) 三段跳の踏切板の位置は、男子11m、女子9mとする。

9 その他

- (1) やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- (2) 応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- (3) 更衣室については、大会受付後方スタンド内通路に入って右側にあるので利用してもよい。
- (4) 記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できる。